

▼予防接種の受け方

【個別接種】

- ①必ず事前に、医療機関に接種の予約をします。
- ②予診票に必要事項を記入し、接種に必要な物を持って予約日に医療機関で接種を受けます。

◆受ける場所

協力医療機関：別紙をご参照ください。



- ◆料 金：協力医療機関で接種する場合 ⇒ 無 料（窓口の接種費用負担はありません）
協力医療機関以外で接種する場合 ⇒ 接種費用を一度医療機関で支払い、後日助成申請の手続きをします。接種費用を助成します。（限度額あり）

◆接種に必要なもの（接種日当日に持って行くもの）



- ◎母子健康手帳（回数の確認）
- ◎健康保険証（生年月日等の確認）
- ◎予診票

【接種を受ける前の注意事項】

◆次の方は接種を受けることができません

- ①明らかに発熱している方（通常は37.5°Cを超える場合）
- ②重い急性疾患にかかっている方
- ③このワクチンの成分によってアナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）をおこしたことがある方
- ④その他、かかりつけ医師に予防接種を受けない方がよいといわれた方

◆次の方は接種前に医師にご相談ください

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- ②過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状のみられた方
- ③過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方
- ④過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- ⑤このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれのある方

【接種を受けた後の注意事項】

- ①接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- ②接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすりはやめましょう。
- ④接種当日は激しい運動はさけてください。その他はいつも通りの生活で結構です。
- ⑤接種後1週間は体調に注意しましょう。接種部位の腫れが目立つときや機嫌が悪くなったときなどは、医師にご相談ください。

【健康被害について】

定期予防接種については、万が一、健康被害が生じた場合、国の健康被害救済制度の申請対象となります。
*大きな副反応が出た場合は、接種した医療機関およびこども課までご連絡ください。

【長期療養を必要とする病気にかかった時は】

定期予防接種の対象である間に、特別な事情（長期にわたり療養が必要な疾病等）があることにより、予防接種を受けることができない場合は、かかりつけ医やこども課（☎0287-88-7116）にご相談ください。